

廃棄物・リサイクル部会

事業名	目的	内容
エコショッピング協力店舗判断基準等について	市民、事業者及び行政がそれぞれの役割と責任を意識し、環境負荷の低減につながる消費行動及び販売行動を推進し、協働によりごみの減量化・リサイクルの推進に取り組むもの。	<p>1 エコショッピング協力店舗数について</p> <p>「エコショッピング協力店舗数」については、店舗独自で実施している内容の捕捉が困難であるため、環境基本計画後期計画策定時に「エコショッピング協力店舗数」の定義を決めた。平成24年度は、廃棄物リサイクル部会委員も所属している東海市3R推進協議会においてエコショッピング協力店舗の対象を詳細に設定するとともに、捕捉を行った。</p> <p>2 エコショッピング協力店舗の判断基準</p> <p>エコショッピング協力店舗の定義は、「レジ袋有料化店舗・店頭での資源回収実施店舗・はかり売り実施店舗・簡易包装実施店舗」としてあるが、具体的な判断基準として以下の6区分のうち、1つでも実施している店舗をエコショッピング協力店舗とすることとした。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① レジ袋の削減</li> <li>② 資源の分別収集</li> <li>③ エコマーク等リサイクル商品の販売促進</li> <li>④ 簡易包装の推進</li> <li>⑤ はかり売り等の実施等</li> <li>⑥ その他、独自の創意工夫によるごみ減量化、リサイクル推進</li> </ol> <p>3 エコショッピング協力店舗把握の取組み</p> <p>&lt;平成23年度&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会議所だよりに事業者向けの協力チラシを折り込み</li> </ul> <p>⇒ 1店舗のみの報告</p> <p>&lt;平成24年度&gt;</p> <p>捕捉を進めるために情報提供を呼びかけ、情報提供のあつ</p>

	<p>た店舗に対し、実施報告書を提出していただくことでエコショッピング協力店舗の候補を把握した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市報告での情報提供の呼びかけ</li> <li>・商工会議所だよりでの情報提供の呼びかけ</li> <li>・市ホームページでの情報提供の呼び込み</li> <li>・消費者団体への情報提供依頼</li> <li>・市3R推進協議会への情報提供の呼びかけ</li> <li>・市職員への呼びかけ</li> </ul> <p>⇒ 133店舗が候補として挙げた。(H23 実績の17店舗含む)</p> <p>この133店舗のうち、125店舗分に対しエコショッピング協力店舗実施報告書の提出を依頼し、報告のあった店舗をエコショッピング協力店舗として把握した。平成25年3月6日現在で86店舗の把握ができた。</p> <p>平成25年度以降は、店舗の把握がさらに進むように、引き続き情報提供の呼びかけ等を実施し、エコショッピング協力店舗の拡大が進むようにエコショッピング協力店舗の負荷価値を検討していく。</p>
--	---